

# 早稲田大学 vs 流通経済大学

10月19日(日)  
11:30K.O.  
味フィ西

前節の桐蔭大戦の前半は、まさに早大らしい戦いだった。スコアも3-0と完璧な内容。

「相手が本来の力を出す前にしっかりとプレッシャーをかけてアクションを起こし、ゴールが取れたので前半の戦いはよかった」(古賀聡監督)

しかし、後半は一気に桐蔭大に押し込まれてしまった。「後半は相手が本来の力を出してきた中で、受け身に回ってしまった」(古賀監督)

それでも1失点に抑え、しっかりと勝点3を奪ったのは今後につながるはず。また、なかなか大量得点とはいかない早大だが、この日ハットトリックを達成した山内寛資(2年)が、後期に入って好調なのはプラス材料。

「山内は後期に入ってチームの中で一番成長した選手。自信を持ってプレーしているのが大きい」(古賀監督)

こういった粘り強い戦いを続け、優勝を狙いたい。後半戦、調子が出ていない流経大。前節の国士大戦は気合の入ったゲームの入り方を見せ、前半27分までに3ゴールを奪ったが、そこからがいかねなかった。3失点を喫して3-3。その後、試合終了間際に勝ち越しゴールを奪ったものの、アディショナルタイムにまたも失点し、4-4の引き分けで勝点2を失った格好となった。

「点が取れたこと、前半に3点取れたところまでは素晴らしかった」(中野雄二監督)

しかし、これで勝ちきれないのでは、この先も厳しくなってくる。

「余裕が生まれてしまい、安易な選択をし始めたことがよくなかった。失点が多いことは勝てない要因になるので、原因を突き詰めて今後には生かさなければいけない」(中野監督)

出場停止:田上大地 警告3回:堀田稜(早大)、古波津辰希(流経大)  
前期の対戦:早大1-1(シュート数7-14) 流経大

早大		流経大	
12. 八角	8. 堀田	7. 森保	2. 湯澤
3. 田中	14. 山内		18. 今津
	24. 佐藤		6. 富田
1. 松澤		13. 山岸	21. 吉田
	10. 近藤洋	20. 江坂	25. 古波津
2. 奥山	9. 宮本		27. 塚川
5. 新井	7. 近藤貴	8. 西谷	26. 藤原

# 専修大学 vs 駒澤大学

10月19日(日)  
13:50K.O.  
味フィ西

4試合勝ち星なし(2分2敗)と長いトンネルに入っていた専大だったが、前節は中央大を相手に6-2の大勝を飾った。

「今日の出来ではまだ厳しい。攻撃のところのチグハグ感が否めない。どうしてもスピードが上がらないところがある。今日のようなことはもうないと思うので、数少ないチャンスをモノにする点を徹底していかなければならない」(源平貴久監督)

4連覇を目指しているだけに、勝利だけでは満足しない。今後、勝ち続けていくためには、攻撃面の質をもっと高めていかなければいけない。この日は多くのシュートを放ったが、DFに当たる場面も多数見られた。

「今まではフリーな状態でシュートが打っていたのに、今は混戦で打たざるを得ない状況になってしまっている。その部分を修正していきたい」(源平監督)

やはり駒大は相当な底力を持っている。前節の明大戦は3-3のドロー。明大の快進撃をストップさせた。

「引き分けという結果は残念だが、一生懸命戦えたと思う」(秋田浩一監督)

前半終了間際まで2点のリードだっただけに、追いつかれての引き分けに悔いは残るが、

「同点にされた時点であきらめず、3点目を取れたことはよく頑張ったと思う。少したくましくなった」(秋田監督)

これを勝点3という結果に結びつけるためには、「90分間戦える力をつける必要がある」(秋田監督)

前期では専大に6失点しているだけに、後期でどういった戦いを見せてくれるのか注目だ。

警告3回:萩間大樹(専大)、川岸祐輔、伊藤慎人、平野篤志、斎藤純平、柳川剛輝(以上駒大)

前期の対戦:専大6-0(シュート数13-1) 駒大

専大		駒大	
5. 小口	11. 前澤	7. 平野	13. 大木
6. 河津			4. 平尾
	40. 後藤		5. 伊藤
1. 福島	8. 星野	9. 山川	14. 中村
	7. 北出		21. 積田
3. 萩間		12. 菊池	10. 板倉
	3. 川岸		
2. 北爪	10. 仲川	11. 小牧	16. 柳川

※布陣は前節を参考にした予想メンバー

## JR東日本カップ 2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦

# OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.26-NO.18 Division1



編集:加茂郁実 発行:(一財)関東大学サッカー連盟 協力:関東大学サッカーサポーターズクラブ

## 明大の連勝がストップ! 専大に復活の兆し!?

優勝、インカレ出場、残留と各チームの思惑が重なり、毎節激戦を繰り広げている「JR東日本カップ2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦」。前節は各チームの強い気持ちが出たのが、多くのゴールが生まれた。まず、首位の順大だが、立ち上がりの5分に先制点を奪われる苦しい展開だったが、その後3ゴール。試合終了間際にも失点したものの粘る筑波大を何とか振り切り、3-2で勝利を収め首位をキープした。ただ、順大はこのところ失点が多いのが気がかり。筑波大はチーム状態こそ上向きだが、勝ち切るには至らなかった。

後期5連勝と好調の明大だったが、前節の駒大戦ではついにその連勝がストップ。前半29分、32分と立て続けに失点。前半終了間際に1点差に詰め寄ると、後半には同点に追いついた。その後、再びリードを奪われたが、さらに同点とし、逆転を狙ったが、そのまま試合は終了。勝点3を得るには至らなかった。明大の粘りもさることながら、上位チームを苦しめる駒大の底力も見えた試合だった。

4連覇を達成するためには勝点3が絶対に必要だった専大は、最下位の中大との一戦。前半11分に先制点を奪うと、13分にもゴール。後半も着実にゴールを重ね、2失点したものの6-2で中大を下して復調の兆しを見た。中大は後半、粘りを見せたが6失点が響いた。

優勝を狙う早大は、ここ数試合調子がいい桐蔭大との一戦。前半、試合を優

### 得点ランキング

前澤 甲気(専大)	11点
藤本 佳希(明大)	9点
山根 視来(桐蔭大)	8点
平松 宗(国士大)	8点
山内 寛史(早大)	7点
佐野 翼(順大)	7点

### アシストランキング

板倉 直紀(駒大)	6アシスト
仲川 輝人(専大)	5アシスト
北出 雄星(専大)	5アシスト
新井 純平(早大)	5アシスト
差波 優人(明大)	5アシスト
堀田 稜(早大)	5アシスト

位に進めた早大が3-0で折り返した。後半、桐蔭大も必死の反撃を見せたが1点を返すにとどまり、早大が3-1で勝利を収めた。

国士大と流経大戦はゴールラッシュ。前半27分時点で流経大が3-0とし、試合が決したかに見えたが、その後、ゴールを重ねる国士大は後半33分に同点。そして、流経大が45分に勝ち越したが、アディショナルタイム1分に国士大がゴールを奪い4-4とし、両者痛み分けとなった。

慶大と残留争いに必死の東国大の一戦は、緊迫したゲームが続く、結局どちらもゴールを決めることができずにスコアレスドローで終了。

2位から4位までは同勝点(34)で並ぶ大混戦となっている。順大、専大、明大、早大の4チームによる優勝争いからは絶対に目が離せない!

## JR東日本カップ 2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	順大	専大	明大	早大	国士大	慶大	駒大	流経大	桐蔭大	東国大	筑波大	中大	勝数	分数	負数	総得点	総失点	得失点差	勝点
1	順大	201	0△0	0△0	201	0●1	100	301	401	2△2	200	201	11	4	2	32	16	16	37
2	専大	1●2 味フィ西	1△1 1●3	300	200	2△2	600	201	502	200	200	402	10	4	3	41	19	22	34
3	明大	0△0 夢の島	1△1 301	201	2●3	002	200	001	401	100	301	1△1	10	4	3	30	17	13	34
4	早大	0△0 早大G	0●3 BMWス	1●2 中大G	301	200	301	1△1	0△0	200	100	201	10	4	3	24	13	11	34
5	国士大	1●2 フクアリ	002 味フィ西	302	103	001	1△1	201	4△4	1199	1△1	1018	7	6	4	29	23	6	27
6	慶大	100 0●1	2△2 フクアリ	200	002	0△0	1△1	200	0△0	300	002	100	7	6	4	19	15	4	27
7	駒大	001 100	006 味フィ西	002	103	2△2	002	300	302	100	403	201	8	3	6	30	33	-3	27
8	流経大	103 203	102 1△1	100	1△1	102	0△0	003	102	403	001	100	4	4	9	20	30	-10	16
9	桐蔭大	104 千葉東総	205 100	104	0△0	001	003	203	201	200	301	103	5	1	11	23	37	-14	16
10	東国大	2△2 3△3	002 2△2	001	002	1△1	200	001	304	002	1△1	100	2	7	8	18	26	-8	13
11	筑波大	002 203	002 001	103	001	003	001	304	100	103	1△1	0△0	2	3	12	12	28	-16	9
12	中大	102 004	204 206	1△1	102	102	102	102	001	301	001	0△0	2	2	13	17	38	-21	8

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

# ゴールは、自分の中にある。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

# 順天堂大学 vs 桐蔭横浜大学

10月18日(土)  
13:50K.O.  
千葉東総

ここ2試合で1分1敗と元気がなかった順大。前節は11位・筑波大とのゲームだったが、こちらも苦しい試合となった。それでも3-2の勝利を収めただけに、「中身は別として3-2で勝てたことがすべてだ。とてもよかったと思う」

と、吉村雅文監督もほっとした表情だった。

ただし、試合終了間際に失点したように、こここのころ守備面が不安定。それでも、「2失点してしまったが、前節よりチームのコンセプトを全うしようとする姿勢を持っていた。チームとして戦っていかないと上位にいけるチャンスはない、その部分は魂が入っていたし、やろうとしていた」(吉村監督) 前の2試合に比べ状況はよくなってきているだけに、さらに徹底させたい。

専大、流経大に連勝し、調子が上がってきたように見えた桐蔭大だが、16節で駒大に2-4で敗れると、前節の早大戦も1-3の敗戦。特に、早大戦の前半は相手を自由にさせてしまい、まったく自分たちのサッカーができなかった。

「情熱や責任感、判断力をピッチで表現することが大事。個々の表現でサッカーは成り立っていると思ってい

るが、全員がサッカーをしていなかった」(八城修監督)

3失点の前半の出来に八城監督も怒り心頭。ハーフタイムで修正を図り、後半はかなり持ち直したが、それでも1点を返すにとどまった。

「ポゼッションをしていたとしてもゴールに直結する動きが少なかったし、そういう持ち方をしていなかったから動き出せなかった。そういったところをトレーニングしていきたい」(八城監督)

警告3回:佐野翼(順大)、金子雄祐、岡本洵(以上桐蔭大)

前期の対戦:順大4-1(シュート数11-9)桐蔭大

順大		桐蔭大	
2. 友澤	11. 米田	9. 今関	28. 中島
13. 宮本	7. 内山	25. 鈴木	4. 古澤
21. 大畑	9. 佐野	13. 岡本	21. 田中
	10. 長谷川竜		6. 福島
5. 新井	6. 長谷川涼	11. 石川	24. 時田
3. 吉永	27. 毛利	7. 山根	3. 石堂

# 国士舘大学 vs 筑波大学

10月18日(土)  
13:50K.O.  
江戸川

前節の流経大戦は激闘となった。こここのところ調子が上がってきたように見えた国士大だが、流経大戦は前半のうちにまさかの3失点。試合は決まったかに見えた。

それでも着実に1点ずつ返していき、気がつけば3-3。試合終了間際に勝ち越されたが、アディショナルタイムに追いつく粘りを見せた。劇的な同点劇にチームの勢いは増したものの、内容を判断すると課題は多い。

「前半の3失点は気になる。失点しないようにしなければいけない」(細田三二監督)

ゴールをできる力強さが出てきているだけに、ここからはいかに失点を減らしていくかが重要になる。

「今までどおりのプレーをし、失点を減らす試合をしていきたい」(細田監督)

15節で後期初勝利を挙げた筑波大だが、その後はなかなか勝ちきれず、前節は首位の順大を相手に善戦を演じたものの、結局2-3の敗戦となってしまった。

「まだ甘さがあるということをあらためて痛感させられる試合だった」(小井土正亮ヘッドコーチ)

ここ数試合、内容は悪くない。しかし、ほしいのは結果。得点力アップを勝利に結びつけたい。

「勇気を持って腰が引けずに、首位のチーム相手に向か

っていったことはよかった」(小井土ヘッドコーチ)

あとは守備の徹底が再度必要だ。「ドリブルが上手な選手に対して簡単にボールを奪われ、運ばれていいシュートを打たれている。それはちょっとしたスキや甘さだと思うので、そこを突き詰めてい

かないとやられてしまう」(小井土ヘッドコーチ) 一戦必勝の試合が続く。

警告3回:海野智之、松本和樹、進藤誠司(以上国士大)、西村洋平、車屋紳太郎、若杉拓哉(以上筑波大)

前期の対戦:国士大3-0(シュート数6-8)筑波大

国士大		筑波大	
2. 藤寄	10. 進藤	28. 吉川	6. 片岡
4. 今瀬	11. 平松		8. 早川
8. 松本		17. 中野誠	13. 齋藤
21. 久保田	6. 海野	10. 中野嘉	1. 岩脇
5. 仲島	20. 山口		18. 三宅
25. 中村	14. 佐々木	7. 車屋	3. 三丸

# 明治大学 vs 東京国際大学

10月18日(土)  
13:50K.O.  
川口

ついに明大の快進撃がストップ。前節の駒大との対戦は3-3の引き分けに終わった。それでも、明大の戦いは見事だったといっている。

「苦しいゲームを引き分けにできてよかった。粘り強さが収穫。二度追いついたのは、負けたくないという気持ちと力が出たと思う」(栗田大輔監督)

前半29分と32分に失点し、2点のリードを奪われた。苦しい展開だったが、前半のアディショナルタイムに1点差に詰め寄ったのが大きく、後半13分に同点に追いついた。その後、勝ちこされたものの、すぐにまた同点とした。ただ、3失点は間違いなく反省点。

「球際や出足の部分。1対1で負けている部分もあったので、改善に取り組まなければならないと思う」(栗田監督)

連勝はストップしたものの6試合負けなしで、選手たちも負けられないという自信を持って戦っている。順大との対戦まで、これを維持できるかが最大のポイントだ。

10位と残留圏内にいる東国大だが、11位・筑波大との勝点差は4ポイント。まだまだ安全圏ではないだけに、しっかりと勝点を積み重ねていきたい。

「試合前のミーティングで、リスクを冒さないサッカーをしようという話をしていたが、お互いにとっても、見

ている人にとっても面白くないゲームになってしまった」(前田秀樹監督)

無失点はブランドおりだったが、そこから攻撃につながらなかった。

「早いリスタートから点を取りたかったが、チャンスはあったのにポストに嫌われてしまった」(前田監督)

明大はパワーもテクニックもある。そのチームを相手にどれだけできるかが焦点だろう。

警告3回:小谷光毅(明大)、福島遼、舛田将太郎(以上東国大)

前期の対戦:明大1-0(シュート数3-1)東国大

明大		東国大	
6. 高橋	8. 石原	28. 田山	2. 大森
5. 松藤	29. 土居	9. 福島	15. 舛田
	7. 差波		8. 上船
1. 三浦			21. 今野
	18. 苅部		23. 成田
3. 山越	11. 藤本	4. 加藤	5. 鈴木
2. 室屋	9. 矢島	7. 小玉	12. 国井

# 慶應義塾大学vs中央大学

10月19日(日)  
13:50K.O.  
味スタ西

後期、やや元気がない慶大。前節の東国大戦も0-0のスコアレスドローに終わってしまった。ただ、こここのところずっと課題に挙げていた守備陣が無失点で終えた点は評価できる。

「今季、毎試合無失点ということを目指している。そういった意味ではいいゲームだった。自分たちのサッカーができたと思う」(須田芳正監督)

ただ、欲をいえば、そこで1点を奪って勝ち切りたかった。そのためには、

「カウンターやセットプレーの質を上げていかないといけない」(須田監督)

今節の中大も、徹底した守備でこの試合に臨んでくるはず、その中で、いかにゴールを奪うかが勝敗の分かれ目となる。

伝統校の中大が苦しんでいる。前節の専大戦でも何とか打開を図りたかったが、2-6と大量失点を喫してしまった。

「気合は入っていたと思うが勝たなければいけないという気持ちから空回りしてしまった。単純な間合いのミスや、いくところまでいけてないということがあった。後半は少しできるようになった」(佐藤健監督)

前半を耐えて後半勝負という戦いだったが、その前半に2失点してしまったのが重くのしかかった。後半は全体的に前に押し込み2点を奪ったが、守備は後半だけで4失点。改善しなければいけない点が多い。

「まずは失点しないこと、ゴール前での攻防に負けたくないこと。単調な裏への攻撃だけでなく、しっかりとサイドを使った攻撃や、きちっとキープをして中盤を作りながら攻撃することをやっていきたい」(佐藤健監督)

警告3回:溝渕雄志(慶大)、岡崎亮平(中大)

前期の対戦:慶大2-1(シュート数5-5)中大

慶大		中大	
14. 井上	7. 川田	11. 古橋	13. 高橋
2. 久保	10. 端山		3. 木村
	13. 加瀬澤		4. 渋谷
1. 峯		38. 岩淵	15. 右高
	8. 山浦		8. 三島
6. 望月	9. 宮地		5. 岡崎
11. 増田	18. 浅間	23. 翁長	6. 鴨池